

へいせい ねんどだい かいかわさきくくみんかいぎ
平成27年度第1回川崎区区民会議

く ぶかい しだい
「だれもがいきいき暮らし部会」次第

にちじ へいせい ねん がつ にち げつ ごご じ ぶん
日時：平成27年4月27日（月）午後6時30分
ばしよ かわさきくくしよ かい だい かいぎしつ
場所：川崎区役所7階 第1会議室

1 かいかい
開会

2 ぶかいちょう
部会長あいさつ

3 ぎだい
議題

- (1) しんぎかだい かいけつさく しゆほう けんとう しりょう
審議課題の解決策・手法の検討について（資料1）
- (2) ちいき みまも かつどう じつたいちょうさ あん しりょう
「地域における見守り活動」実態調査（案）について（資料2）
- (3) しんぎすけじゅーる しりょう
審議スケジュールについて（資料3）

4 た
その他

はいふしりょう
【配布資料】

- ・ しりょう 1 : 「だれもがいきいき暮らし部会」 しんぎかだい 審議課題について
- ・ しりょう 2 : かわさきくくみんかいぎ ちいき みまも かつどう じつたいちょうさ あん
川崎区区民会議「地域における見守り活動」実態調査（案）
- ・ しりょう 3 : しんぎすけじゅーる
審議スケジュール
- ・ べっし 1 : だい 5 き かわさきくくみんかいぎ いんめいぼ
第5期川崎区区民会議委員名簿
- ・ べっし 2 : ざせきひょう
座席表
- ・ さんこうしりょう 1 : へいせい 26 ねん どがいこくじんしみんいしきじつたいちょうさ けつか
平成26年度外国人市民意識実態調査の結果について
- ・ さんこうしりょう 2 : だい 5 き かわさきくくみんかいぎ
第5期川崎区区民会議だより
- ・ さんこうしりょう 3 : だい 5 き かわさきくくみんかいぎちゅうかんほうこくしよ がいようばん
第5期川崎区区民会議中間報告書、概要版

「だれもがいきいき暮らす部会」 審議課題について

審議テーマ 1：地域における見守り活動の充実

各団体で実施している高齢者などを見守る活動の実態調査

取組の方向性

◇見守り活動を行っている団体（町内会、民生委員、社会福祉協議会など）の実態を把握するためにアンケート調査を実施する。また、アンケート調査後は、アンケート結果を分析し、成功モデルの普及について検討します。

◇高齢者だけでなく、子どもや障害者等も合わせた見守り活動を対象とする。

◇区全体では、数も多くなることから、ある地域をモデル的に選定し、その地域で見守り活動を行っている各団体や企業などを対象とする。

審議における検討事項

◇モデル的に調査を行う地域の選定、調査対象とする団体や企業の整理

◇調査の目的をはっきりさせ、その目的達成のためのアンケート設計（設問として、見守りの対象、活動の課題・問題、活動のメリット・デメリット、財源など）

◇調査方法など

見守り活動を行っている各団体の連携方策の検討

取組の方向性

◇見守り活動を行っている各団体に呼びかけを行い、情報交換会を定期的に開催する仕組みをつくり、連携ネットワークを構築する。

審議における検討事項

◇アンケート調査後に、盛んに活動をしている団体・企業に焦点を当てて、ヒアリングなどを行い、詳細に活動等について把握

◇情報交換会を定期的に開催する仕組みの検討

第8回部会で出されたご意見

- ①アンケートを実施するに当たり、スピードアップして進めた方がいい。作業部会のようなものをつくってはどうか。
- ②全体ではなかなか細かい部分まで詰め切れないため、次回までに数人で議論し、アンケートの素案をつくってきてもらってはどうか。
- ③アンケートは、どのような団体でも対応できる普遍性のある内容にして、アンケートができ上がった段階で、対象の団体を審議してはどうか。

【現段階で決定している事項】

- ◆次回の専門部会までに作業部会を開催し、アンケートの素案を作成する。次回の部会では、素案を基に内容を固める。
- ◆アンケートの調査対象は、地域毎の特性が分かるよう中央、大師、田島地区から同数を抽出する。

しんぎてーま　こそだ　とお　せだいかんこうりゅう 審議テーマ2：子育てを通した世代間交流

こ　いくせいしえんだんたいどうし　じょうほうこうかんかい　かいさい　てんかい 子ども育成支援団体同士の情報交換会の開催・展開

とりくみ　ほうこうせい 取組の方向性

- ◇第1回情報交換会を開催した「大師地区」での第2回目の情報交換会を開催する。
- ◇新たに「田島地区」での第1回目の情報交換会を開催する。

しんぎ　けんとうじこう 審議における検討事項

- ◇情報交換会の開催に向けた体制づくり
- ◇子ども育成支援団体同士のネットワークの構築に向けた検討

えほん　よ　き　せだいかんこうりゅう　じったいはあく　そくしんさく　けんとう 絵本の読み聞かせなどによる世代間交流の実態把握と促進策の検討

とりくみ　ほうこうせい 取組の方向性

- ◇子育てを通した世代間交流を促進するための方策を検討

しんぎ　けんとうじこう 審議における検討事項

- ◇子育てに関連した世代間交流に関する活動や団体の実態把握の方法の検討（絵本の読み聞かせなど）

だい　かいぶかい　だ　いけん 第8回部会で出されたご意見

- ①2回目の情報交換会を開催するに当たり、テーマとして、「子育てについての3世代の連携」、「見守りにおける連携」、「子どもの安全・安心」などが考えられるが、多くの参加が得られるようなテーマを検討する必要がある。1回目は、各団体の活動内容について説明してもらった。
- ②テーマは始めから決めなくても、話していく中で出てくるのではないか。
- ③町内会や自治会では、子どもについての活動はあまり聞いたことがない。子どもの活動は遅れているのではないか。
- ④大師地区の2回目の情報交換会には、前回参加してもらった団体に加えて、いくつかの団体を加えてはどうか。（学校の先生、子育て支援センター、わくわくプラザ、川崎警察署、川崎臨港警察署など）
- ⑤子どもといっても、乳児、幼児、小学生、中学生というよう対象をはっきりさせる必要がある。

げんだんかい　けつてい　じこう 【現段階で決定している事項】

- ◆「子育てを通した世代間交流」をテーマに、5月を目処に大師地区で2回目の情報交換会を開催する。

しんぎてーま　がいこくじんしみん　く 審議テーマ3：外国人市民も暮らしやすいまちづくり

がいこくじんしえんだんたい　れんけい　ぼうさいふ　おーらむ　かいさい 外国人支援団体と連携した防災フォーラムの開催 (外国人市民意識実態調査による川崎区の特性の把握)

とりくみ　ほうこうせい 取組の方向性

- ◇外国人市民の防災意識の向上を図るため、外国人支援団体と連携した防災フォーラムを継続的に開催する。

しんぎ　けんとうじこう 審議における検討事項

- ◇平成27年2月にカトリック貝塚教会で開催した外国人向けの防災フォーラムなどを継続的に開催する体制づくりの検討

だい　かいぶかい　だ　いけん 第8回部会で出されたご意見

- ①2月に貝塚教会で防災フォーラムを実施し、多くの成果が得られた。これを継続していくことが重要である。
- ②前はインドの方が来なかったため、より多くの方が参加できるよう呼びかけ方法の改善を検討してほしい。

川崎区区民会議「地域における見守り活動」実態調査（案）

1 調査対象

(1) 高齢者関係

- 町内会・自治会…………… 10 団体× 3 地区（中央・大師・田島）
5月25日（月）に区町内会連合会の理事会が開催されるため、その場でアンケートの協力について依頼する。
- 民生委員児童委員協議会…………… 10 団体
- 地区社会福祉協議会…………… 10 団体
- 老人クラブ…………… 10 団体× 3 地区（中央・大師・田島）

(2) こども関係

- 区内小中学校 PTA…………… 全 31 団体（小学校 21、中学校 11）
6月9日に区内全小中学校 PTA による運営委員会が開催されるため、その場でアンケートの記入を依頼し、回収する。
- 母親クラブ・子育てグループ
母親クラブ（区内全 23 団体）の代表者の連絡先について、区社会福祉協議会では助成金申請書類により把握しているが、目的外利用となるため外部に提供することはできない。ただし、4月30日（木）に今年度の助成金説明会があるので、その場でアンケートを配布するといった協力ならば可能とのこと。

※障害者関係については、既にサポート体制が十分に構築されており、高齢かつ障害を持つ方など、重複している場合も多いことから、調査対象から除外した

2 調査期間

(1) 調査期間

平成 27 年 4 月 30 日（木）～ 6 月 9 日（火）

(2) 調査手法

原則、郵送配布－郵送回収

川崎区区民会議「地域における見守り活動」に関するアンケート

川崎区区民会議は、区における地域社会の課題を把握し、その解決を図るため調査・審議を行い、もって暮らしやすい地域社会の形成に資するため、区民を構成委員として設置されています。

この度、第5期川崎区区民会議におきまして、「だれもがいきいき暮らす部会」の審議テーマとして「地域における見守り活動の充実」が挙げられ、川崎区内の関係機関・団体等が実施しておられます高齢者・こどもの見守り活動の実態調査と関係機関・団体等の連携について、取り組むこととなりました。つきましては、お忙しい中誠に申し訳ございませんが、○月○日（○）までに、本アンケートの回答について、ご協力をお願いいたします。

○ 実施主体 第5期川崎区区民会議 専門部会「だれもがいきいき暮らす部会」

○ 事務局 川崎区役所まちづくり推進部企画課 担当 柘宜（ねぎ）

電話：044-201-3296 FAX：044-201-3209 メール：61kikaku@city.kawasaki.jp

団体名称			
記入者 (役職等)	()		
電話番号	— —	記入日	平成27年 月 日

質問事項	回答欄
見守り活動の内容 (活動対象別に、該当する活動事例に、○印を付けてください。当てはまらない場合、その他に記入してください。複数回答可)	<p>○高齢者への活動事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り、安否確認 ・外出支援 ・家事支援（買物・調理・掃除・洗濯） ・介護支援 ・会食、配食 ・趣味活動 ・健康づくり活動 ・その他（) <p>○子どもへの活動事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談 ・託児、保育 ・教育、各種講座 ・子育て支援 ・保護者同士の交流 ・その他（)
見守り活動の対象者 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者単身世帯 ・高齢者のみの世帯 ・同居家族のいる高齢者 ・一人親の世帯 ・子どものいる世帯 ・その他（)
見守り活動の対象地域 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校区 ・中学校区 ・町内会 ・区内全域 ・その他（)

質問事項	回答欄
見守り活動の活動場所 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅 ・ 町内会館 ・ 老人いこいの家 ・ こども文化センター ・ その他 ()
見守り活動日数 平均的な活動状況を記入して下さい。 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日 ・ 週__日 ・ 月__日 ・ 年__日 ・ その他 ()
見守り活動において、連携する地域活動者・団体 関係する個人が所属する団体を記入して下さい。 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会役員 ・ 民生委員、児童委員 ・ 行政担当者 ・ 地域包括支援センター ・ なし ・ その他 ()
見守り活動を通して支援が必要となった場合の相談先 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区役所所管課 ・ 民生委員、児童委員 ・ 地域包括支援センター ・ 社会福祉協議会 ・ 子育て支援センター ・ なし ・ その他 ()
対象者の把握方法 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政からの情報 ・ 町会からの連絡 ・ 自分たちで ・ 近隣からの連絡 ・ その他 ()
個人情報の管理 (対象者の情報管理) (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体内で管理 ・ 必要に応じて連携する団体と共有 ・ その他 ()
団体の活動財源 団体の活動財源を記入して下さい。 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会費 ・ 市からの補助金 ・ 町内会等からの補助 ・ なし ・ その他 ()
人材育成 研修会等、団体で人材を育成している方法を記入して下さい。 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会、講演会等への参加 ・ 自主研修会の開催 ・ なし ・ その他 ()
現在の活動の課題 活動において、困っていることを記入して下さい。 (○印を付けてください 複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財源 ・ 人員不足 ・ 活動の場所 ・ 地域の理解 ・ 人材育成 ・ なし ・ その他 ()
活動の利点 活動を行うことにより、良かったこと等を記入して下さい。	<div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>
今後の見守り活動の活性化に向けて 今後の団体活動の更なる活性化に向けて、取組みたいことについて、記入して下さい。	<div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>

ご協力ありがとうございました。

ねんど 年度	へいせい ねんど 平成26年度											
つき 月	がつ 4月	がつ 5月	がつ 6月	がつ 7月	がつ 8月	がつ 9月	がつ 10月	がつ 11月	がつ 12月	がつ 1月	がつ 2月	がつ 3月
ぜんたいかいぎ よてい 全体会議(予定)	だい かい 第1回						だい かい 第2回				だい かい 第3回(2/24)	
くみん かいぎ 区民会議フォーラム											○(2/28)	
せんもんぶかい よてい 専門部会(予定)			だい かい 第1回	だい かい 第2回		だい かい 第3回		だい かい 第4、5回	だい かい 第6回	だい かい 第7回		だい かい 第8回
ちょうさしんぎ れい 調査審議(例)	しんぎかだい せんてい 審議課題の選定			視察・ヒアリングを実施				○2月8日(日)10時～外国につながる市民の防災フォーラム(カトリック教会員塚) ○2月9日(月)18時～区民会議交流会(エポックなかはら)				
	しりょう じょうほう しゅうしゅう かんけいきかん ひありんぐ しきつ かだい ぶんせき 資料・情報の収集、関係機関へのヒアリング、視察、課題の分析											
	かだいかいけつさく しゅほう けんとう 課題解決策、手法の検討 ※											
	ちゅうかんほうこくあん と 中間報告(案)の取りまとめ											
らん メモ欄	※1年間で結論・成果が出せる課題は中間報告までにまとめる。 その後、平成27年度1年間で結論が出せそうな課題を部会毎に追加することも可。											

ねんど 年度	へいせい ねんど 平成27年度														
つき 月	がつ 4月	がつ 5月	がつ 6月	がつ 7月	がつ 8月	がつ 9月	がつ 10月	がつ 11月	がつ 12月	がつ 1月	がつ 2月	がつ 3月			
ぜんたいかいぎ よてい 全体会議(予定)		だい かい 第1回					だい かい 第2回		だい かい 第3回			だい かい 第4回			
くみん かいぎ 区民会議フォーラム								○							
せんもんぶかい よてい 専門部会(予定)	だい かい 第1回			だい かい 第2回		だい かい 第3回		だい かい 第4回		だい かい 第5回	だい かい 第6回				
ちいき はぐく ぶかい 地域を育むまちづくり部会	かだいかいけつさく しゅほう けんとう・じっし 課題解決策、手法の検討・実施														
	くみんかいぎ 区民会議フォーラム														
だれもがいいき暮らし暮らし部会	あんけーと じっし アンケートの実施			あんけーと アンケートのまとめ			ひありんぐ じっし ヒアリングの実施			ていあんないよう けんとう 提案内容の検討			さいしゅうほうこくあん 最終報告(案)の とりまとめ		
	※審議状況に応じて、適宜、スケジュールを変更することも可。														
らん メモ欄															

第5期川崎区区民会議委員名簿

別紙1

任期：平成26年4月1日から平成28年3月31日まで

平成27年4月27日現在

No.	氏名	分野	推薦団体	部会※	
				地域	いき
1	あかま やすお 赤間 靖夫	だんたいすいせん ちいきそしき 団体推薦【(7)地域組織・まちづくり】	かわさきく 川崎区まちづくりクラブ	○	
2	あらい かずなり 新井 一成	こうぼ 公募	—	○	
3	あらい ときこ 新井 トキ子	だんたいすいせん ぼうさい ちいきこうつう 団体推薦【(1)防災・地域交通】	かわさきく あんぜん あんしん 川崎区安全・安心まちづくり推進協議会		○
4	あらまき ゆうこ 荒巻 裕子	くちょうせんじん こ かんけい 区長選任（子ども関係）	—		○
5	いしわた かつろう 石渡 勝朗	だんたいすいせん ふくし けんこう 団体推薦【(2)福祉・健康】	かわさきく ぼごしかい 川崎区保護司会		○
6	いわせ きぬよ 岩瀬 絹代	こうぼ 公募	—	○	
7	かないわ いさお 金岩 勇夫	だんたいすいせん ぶんか かんこう 団体推薦【(6)文化・観光】	かわさき れきし きょうかい かわさき歴史ガイド協会	○	
8	ちねん じょあんな 知念 ジョアンナ	くちょうせんじん がいこじんしんみん 区長選任（外国人市民）	—		○
9	つかはら はるみ 塚原 晴美	だんたいすいせん こそだ きょういく 団体推薦【(3)子育て・教育】	かわさきく ぎょうかい 川崎区PTA協議会	○	
10	とむら まさふさ 戸村 正房	だんたいすいせん さんぎょう かつりよく 団体推薦【(5)産業・まちの活力】	かわさき たうんまねーじめんときかん かわさきタウンマネージメント機関	○	
11	なかむら きみこ 中村 紀美子	だんたいすいせん ぶんか かんこう 団体推薦【(6)文化・観光】	かわさきく ぶんか きょうかい 川崎区文化協会		○
12	のせ はるみ 埜瀬 晴美	こうぼ 公募	—	○	
13	ばく ちゃんほ 朴 昌浩	こうぼ 公募	—		○
14	はた としお 畑 敏雄	だんたいすいせん ふくし けんこう 団体推薦【(2)福祉・健康】	かわさきく かわさきく しやかいふくし きょうかい 川崎市川崎区社会福祉協議会		○
15	はら ちよこ 原 千代子	くちょうせんじん た ぶんかきょうせい こ かんけい 区長選任（多文化共生、子ども関係）	—		○
16	ふかせ きんのすけ 深瀬 欣之助	だんたいすいせん ちいきそしき 団体推薦【(7)地域組織・まちづくり】	かわさきく れんごうちやうないかい 川崎区連合町内会	○	
17	もりわき たくろう 森脇 卓郎	くちょうせんじん こうれいしやかんけい 区長選任（高齢者関係）	—		○
18	やまだ よしたか 山田 義孝	だんたいすいせん こそだ きょういく 団体推薦【(3)子育て・教育】	かわさきく みるせい いん じどう いん きょうかい 川崎区民生委員児童委員協議会		○

※「地域」：地域を育むまちづくり部会、「いき」：だれもがいきいき暮らす部会

だれもがいきいき暮らす部会 座席表

べっし
別紙2

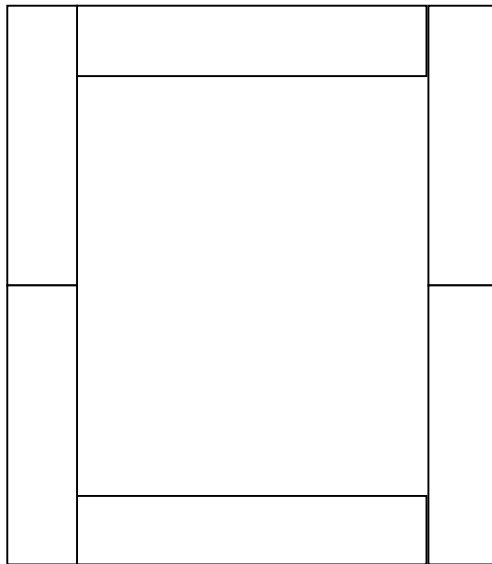
原
部
会
長
はらぶかいちちよう

やまだいいん
山田委員

もりわきいいん
森脇委員

はたいいん
畑委員

ぱくいいん
朴委員



あらいときこいいん
新井トキ子委員

あらまきいいん
荒巻委員

いしわたいいん
石渡委員

ちねんいいん
知念委員

なかむらいいん
中村委員

菅
原
係
長
すがはらかかりちちよう

長
沼
企
画
課
長
ながぬまきかくかちちよう



じむきよく
事務局

じむきよく
事務局



平成 27 年 4 月 21 日
報道発表資料

外国人市民意識実態調査の結果について

川崎市では、国籍や民族、文化の違いを豊かさとして生かし、すべての人が互いに認め合い、人権が尊重され、自立した市民として共に暮らすことができる「多文化共生社会」の実現をめざして、様々な施策に取り組んできました。

この 20 年で外国人市民の人口は 1.5 倍となり、以前は特別永住資格を有する韓国・朝鮮の方が最も多かったが、現在の国籍・地域の構成比率では、中国が 1 位となり、その他の国籍も増えて多様化し、外国人市民を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした中、川崎市に在住する外国人市民の意識や実態、ニーズなどを把握し、市の施策に生かすため、**20 年ぶり**に外国人市民意識実態調査を実施し、調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

1 調査の概要

- (1) 調査対象 川崎市在住の外国人市民満 18 歳以上の男女個人
- (2) 標本数 5,000 標本
- (3) 抽出・調査方法 住民基本台帳から無作為抽出。郵送配布、郵送回収
- (4) 調査期間 平成 26 年 6 月 26 日（木）～7 月 22 日（火）
- (5) 有効回収数 921 件（有効回収率 18.4%）
- (6) 調査言語 9 言語（日本語（ルビ付）、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、タイ語、ベトナム語）

2 調査項目 ふだんの生活から行政の対応など全 57 問

3 調査結果の主な特徴

- (1) 情報の入手経路⇒知り合い 66.9%、インターネット 66.6%
- (2) 窓口サービス⇒親切 51.5%、どちらかといえば親切 39.0%
- (3) 困ったこと⇒年金の制度がよくわからない 47.8%、介護保険制度がよくわからない 45.3%、日本の学校の仕組みがよくわからない 20.4%、日本語が不自由なため病気になったとき 30.0%、日本語が不自由なため役所の手続きをするとき 21.3%
- (4) 川崎市に住んでよかったこと（自由記述）
⇒交通や生活の利便性など 226 件、居住環境や治安の良さ 143 件、自然環境 90 件
- (5) 外国人市民が暮らしやすい社会にするために必要なこと（自由記述）
⇒通訳・翻訳、情報発信、多言語表示など 150 件、差別・偏見のない社会 75 件

4 報告書（本編・概要版）の公表方法

- (1) 川崎市ホームページ
- (2) 情報プラザ、区役所、支所、市民館等での閲覧

川崎市市民・こども局人権・男女共同参画室
外国人市民施策担当
電話（044）200-2369

かわさきしがいこくじんしみんいしきじつたいちようさほうこくしよ 川崎市外国人市民意識実態調査報告書

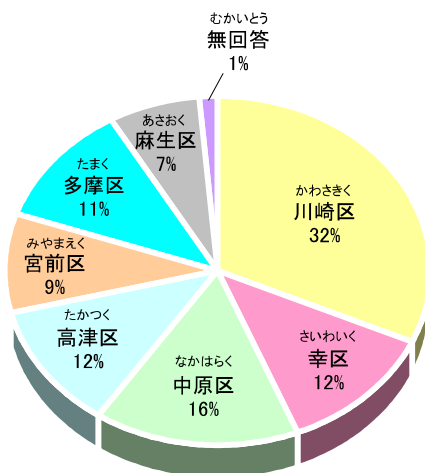
がいようばん ＜概要版＞

川崎市では、国籍や民族、文化の違いを豊かさとして生かし、すべての人が互いに認め合い、人権が尊重され、自立した市民として共に暮らすことができる「多文化共生社会」の実現を目指しています。

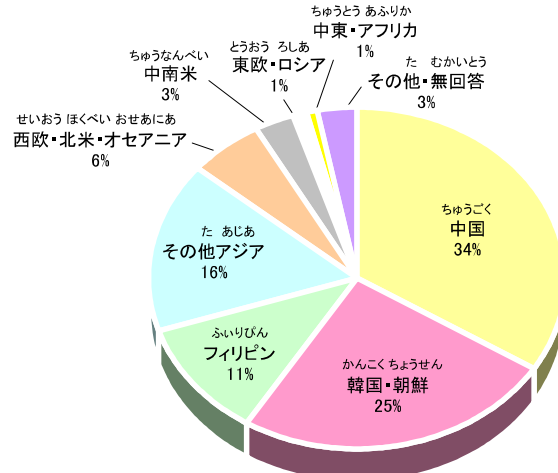
このたび、川崎市に住む外国人市民の意識や実態、ニーズなどを把握し、市の施策に生かすため実態調査を実施しました。このような調査は、前回の1993年以来、およそ20年ぶりです。

今回の調査では、日常生活、医療・保険、子育て・教育、地域活動・市政参加、仕事、行政の対応などについてたずねました。調査票（アンケート用紙）は、日本語版のほか、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、タイ語、ベトナム語に翻訳したものを用意しました。調査対象者は、無作為に選ばれた市内在住の18歳以上の外国人市民（日本国籍を持たない人）5,000名で、調査票を郵送し、そのうち921名から回答をいただきました（回収率：18%）。回答者を男女別でみると、男性が37%、女性が61%、無回答が2%で、女性が約6割を占めます。また、居住区別、国籍・地域別の内訳は以下のとおりです。

【居住区別の内訳】



【国籍・地域別の内訳】



この「報告書＜概要版＞」では、調査結果のうち、主な項目についてご紹介いたします。

川崎市では、今回の調査の結果をもとに、さらなる施策の充実を図り、今後も多文化共生社会の実現を目指していきます。

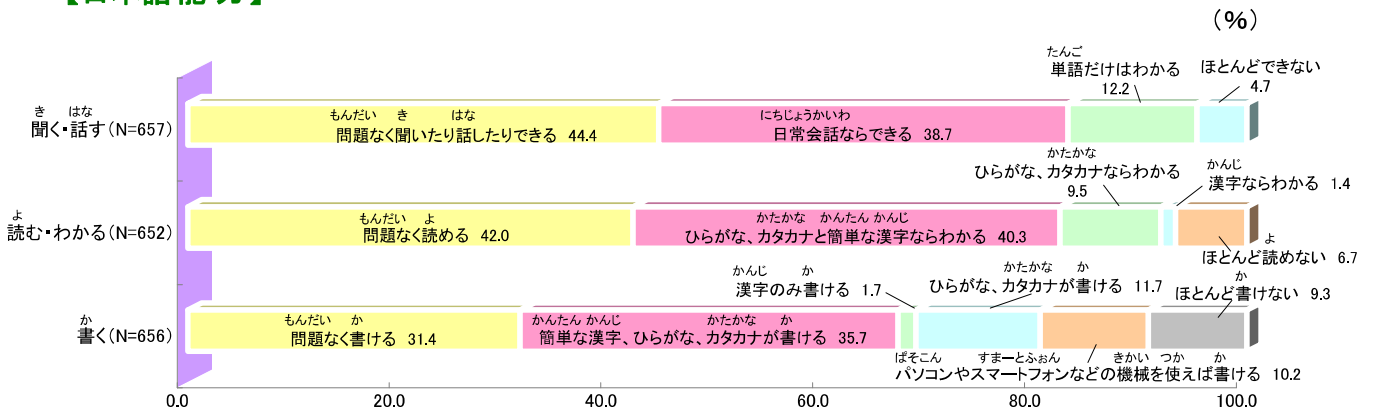
なお、報告書の概要版は英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、タイ語、ベトナム語もあります。概要版は下記のホームページからご覧いただけます。

<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/60-7-4-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

日本語が「問題ない」という回答は3~4割

自分の日本語能力について自己申告してもらったところ、「問題ない」という回答は「聞く・話す」<読む・わかる>で約4割、「書く」で約3割でした。一方、「ほとんどできない」という回答もそれぞれ5~9%程あり、なかでも「書く」ことがほとんどできない人は約1割という結果でした。

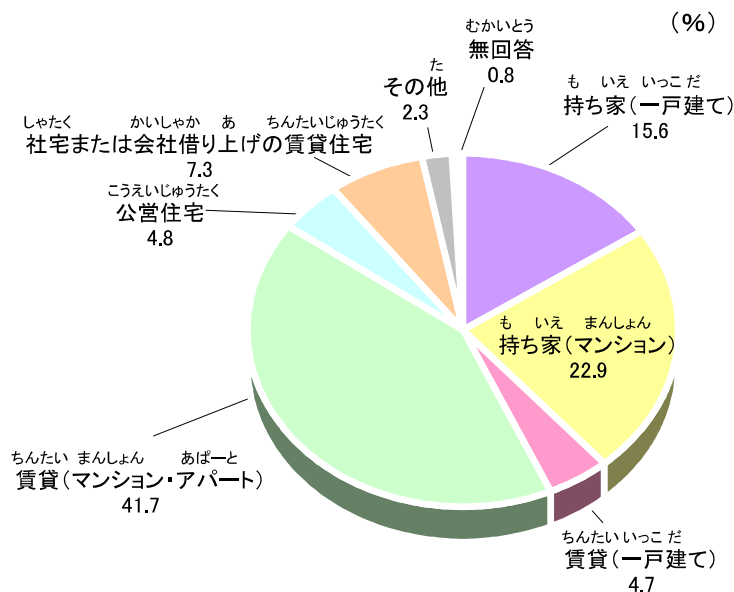
【日本語能力】



持ち家に住む人が増加

回答者の4割近くが持ち家（一戸建てまたはマンション）に住んでいます。川崎市内に長く暮らす人が増えたことを反映して、この20年くらいの間に持ち家の割合が大きく伸びました。一方、多くの回答者が「外国人であることを理由に入居を断られた」（21%）、「保証人が見つからなかった」（17%）という経験をしています。川崎市には「居住支援制度」がありますが、知っている人は2割未満でした。また、公営住宅への応募方法がわからなくて困った人も16%にのぼります。

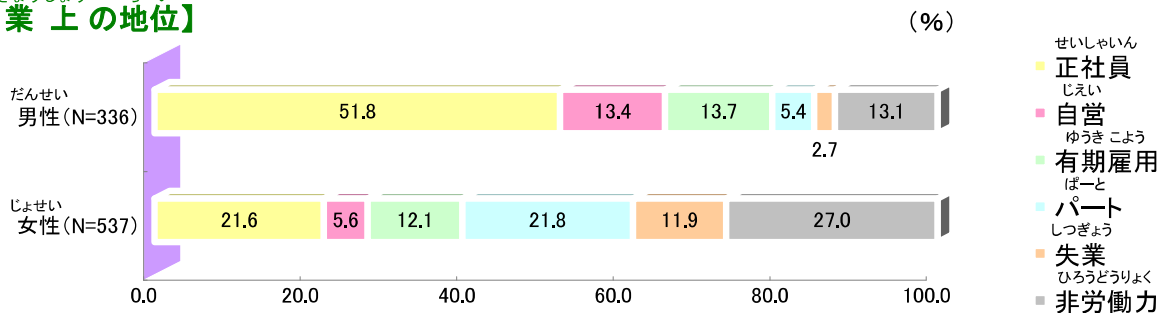
【住居の種類】



■ 正社員が増加するも、まだ日本人との間には格差

従業上の地位を男女別にみると、男性では正社員が半数以上に達していますが、女性では2割程度にとどまっています。有業者だけでみると会社役員を含んだ正規雇用の比率は、1993年の調査では男性40%、女性29%でしたが、2014年（今回調査）では男性61%、女性35%でした。男女ともに正規雇用の割合は増加傾向にあり、とくに男性の増加が顕著です。就業構造基本調査（2012年）によると、川崎市の有業者に占める正規雇用率は男性で68%、女性で42%でした。外国人と日本人の間には、正規雇用をめぐって、いまだに格差があります。

【従業上の地位】

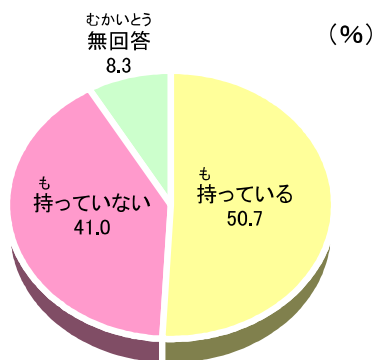


■ 子どもの約半数が日本国籍

回答者全体の4割が18歳以下の子どもと同居していました。子どもたちの国籍についてたずねたところ、51%の子どもが日本国籍を持っていました（「持っていない」41%、「無回答」8%）。

子どもと同居している回答者が家庭で使っている言葉をたずねたところ、日本語と回答者の母語の両方を使っている人が43%と最も多く、日本語だけを使っていると答えた人は36%でした。主に母語を使っているという人も15%いました。

【日本国籍を持っている子ども】



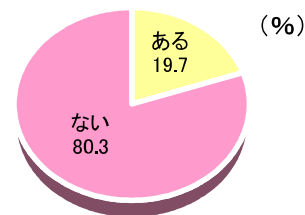
■ 最近1年間に差別とを感じる経験をした人は約2割

今回の調査では、住宅、就労などいくつかの分野で差別の経験についてもたずねています。そのいずれかの差別とを感じる経験をしたことのある人は回答者全体の41%、最近1年間の経験をたずねた項目だけみると20%でした。

また、お店、銀行、ホテルなどで、身分証明のため在留カード（または外国人登録証明書）の提示を求められたことのある人は14%にのぼりました。

※在留カードの提示を求めることができるのは警察官と入国管理局等、法律で定められた人だけです。

【最近1年間に差別と感じた経験】



■ 主な内容

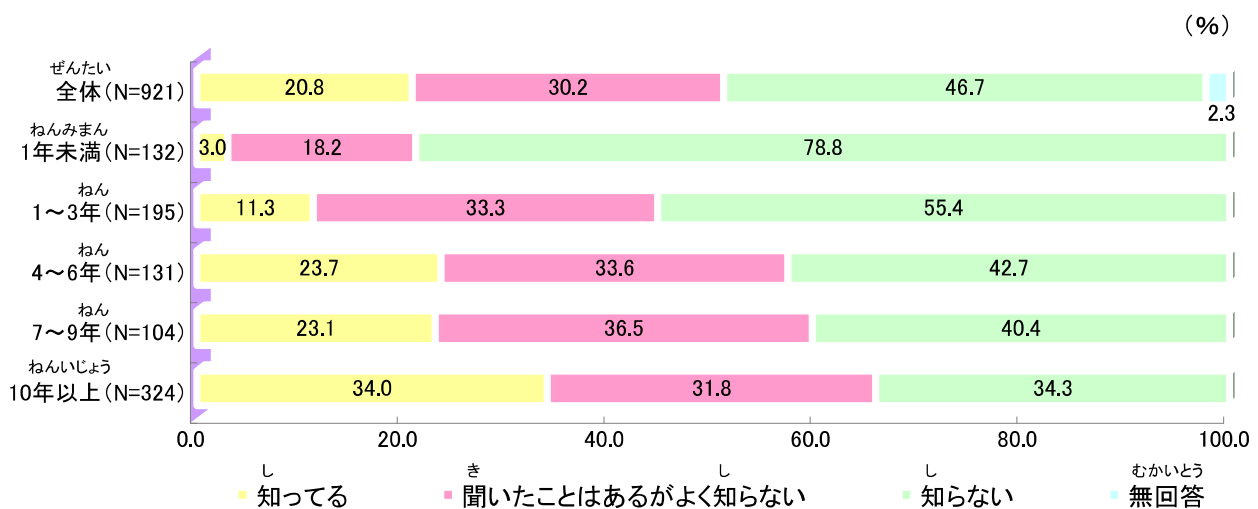
- ・病院での対応
- ・まちなかななどで感じる不安・危険
- ・何もしていないのに警察に呼び止められた

外国人市民代表者会議について「知っている」は2割

川崎市外国人市民代表者会議は、外国人市民の市政参加を推進し、よりよいまちづくりを実現するために設置されたものです。この代表者会議についてたずねたところ、「知っている」は21%、「聞いたことはあるがよく知らない」は30%、「知らない」は47%でした。ただし、川崎市での居住年数が長くなるにつれ、認知度は高くなる傾向にあります。

また、「知っている」と回答した人に代表者会議が外国人市民の生活に役に立っていると思うかたずねたところ、「そう思う」が50%、「そう思わない」が10%、「わからない」が39%でした。

【代表者会議の認知度と市内居住年数】



また、さらに詳しい結果をまとめた報告書（日本語のみ）も下記のホームページからご覧いただけます。

<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/60-7-4-0-0-0-0-0-0.html>

平成27（2015）年3月

発行：川崎市市民・子ども局人権・男女共同参画室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

Tel 044-200-2359 Fax 044-200-3914 E-mail 25gaikok@city.kawasaki.jp



★ 平成 26 年度川崎区区民会議フォーラムの開催結果

第5期川崎区区民会議審議内容の報告

平成26年4月から2年間の任期でスタートした第5期川崎区区民会議の1年間の調査・審議内容について報告しました。

「区民会議の概要」「前期(第4期)川崎区区民会議の主な成果」について新井副委員長が、各専門部会の取組について戸村部会長・原部会長がそれぞれ報告し、その後、参加者との意見交換を行いました。



区民会議ポスターセッション

会場の受付横にて、区民会議の審議状況をまとめたポスターを展示し、第5期区民会議審議内容の共感できる取組について、参加者にシールで投票を行ってもらいました。投票では、「子どもが自由に自然にふれあえる場の確保・創出」が最大の共感が得られ、次点は「自転車マナーの向上の検討」でした。



地球環境問題啓発ポスターコンクール表彰式

第2期区民会議の提案に基づき実施している小学校高学年を対象とした地球環境問題啓発ポスターコンクールの表彰式を行いました。

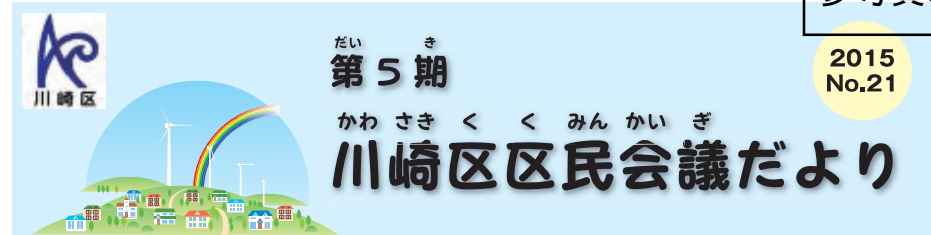
今回は、155点の応募の中から30点の入賞作品が選ばれ、当日は、入賞者16名(最優秀賞1名、優秀賞3名、佳作12名)が参加しました。



子どもから大人まで楽しめる落語

子どもから大人まで楽しめる落語を、落語家の柳家一琴さんをお呼びし、環境問題をテーマに上演を行いました。

上演後の「師匠への質問タイム」では、参加者からの様々な質問に対し、ユーモア溢れる回答で会場を大いに沸かせていました。



★ 平成 26 年度川崎区区民会議フォーラムを開催しました！



第5期川崎区区民会議審議内容の報告の様子

区民会議の審議内容を区民に広く周知するとともに、審議内容について区民から意見を伺うことを目的として、平成26年度川崎区区民会議フォーラムを開催しました。

当日は、「地球環境問題啓発ポスターコンクール表彰式」、「子どもから大人まで楽しめる落語」、「区民会議ポスターセッション」も行われ、多くの方にご参加いただきました。

開催概要

日時：平成27年2月28日(土)
午後2時～4時
会場：川崎市役所第4庁舎
参加者：約80人

当日のプログラム

- ◆ 第5期川崎区区民会議審議内容の報告
- ◆ 地球環境問題啓発ポスターコンクール表彰式
- ◆ 子どもから大人まで楽しめる落語
- ◆ 区民会議ポスターセッション

※当日のプログラムの詳細については4ページを御覧ください。



川崎区役所
企画課

〒210-8570 川崎区東田町8番地
電話 044(201)3267 FAX044(201)3209

区民会議の活動についての情報は、区民会議だよりや市政だより川崎区版のほか、区ホームページ内にある「川崎区区民会議のページ」でもご覧になれます。「川崎区区民会議のページ」では過去の会議の要点がまとめられているほか、議事録や各期の(中間)報告書、会議の開催予定なども掲載しています。

【川崎区区民会議ホームページ】

<http://www.city.kawasaki.jp/kawasaki/category/94-10-1-0-0-0-0-0-0.html>



地域を育むまちづくり部会

防災対策の充実

地域で防災マップづくりを推進するための「(仮)安全マップづくりマニュアル」の作成

小学校区や町会単位の防災マップを、地域住民が自ら発意し作成できるように、マップの作成方法や作成の過程をまとめたマニュアル「(仮)安全マップづくりマニュアル」の作成を検討します。



マイ防災手帳の作成を通じた「家族防災会議」の推進

災害が起きた直後は「自助」がとても重要になります。また、各家庭で防災について話し合うことは自分や家族を守るという「自助」につながることから、話しあいのきっかけを作るため、マイ防災手帳を作成し、「家族防災会議」を開くことを推進します。

自主防災組織のあり方の検討

町会・自主防災組織などの団体は日頃から様々な防災に関する活動をしていますが、地域防災力の向上のためには一層の連携が大切です。そこで、町会・自主防災組織などの各団体が連携して活動していくための仕組みを検討します。

子どもの遊び場づくり

子どもが自由に自然とふれあえる場の確保・創出

昨今、公園などには規制や禁止事項があり、子どもが自由にのびのびと遊べる場所や、自然とふれあえる場所が減少しています。そこで、子どもが自由に遊べる場所や自然とふれあえる場所を川崎区内に確保・創出していくことを検討します。



公園の管理・運営のあり方の検討

公園は子どもの遊び場としての機能だけでなく、災害時は避難場所になるなど様々な機能を有していますが、設備などがそれぞれ異なっている現状があります。

地域住民が自ら公園の管理・運営を行い、誰もが楽しめる世代間交流の場の創出について検討します。



交通安全対策の推進

自転車マナー向上の検討

自転車マナーや盗難防止の啓発の方法（ステッカーの配布やスクエアード・ストレイト方式の安全教室の継続開催など）の実施を審議していきます。



だれもがいきいき暮らす部会

地域における見守り活動の充実

各団体で実施している高齢者などを見守る活動の実態調査と成功モデルの普及

見守り活動を行っている団体の実態を把握するため、アンケート調査を実施します。アンケート調査は高齢者の見守り活動だけでなく、子どもや障害者などを見守っている活動も対象とします。また、アンケート調査後は、アンケート結果を分析し、成功モデルの普及について検討します。

見守り活動を行っている各団体の連携方策の検討

見守り活動を行っている団体はたくさんありますが、団体同士の連携がもっと良くなれば、見守り活動の内容も一層、充実すると思われます。

そこで、見守り活動を行っている各団体に呼びかけを行い、情報交換会を定期的に開催する仕組みをつくり、連携ネットワークを構築します。



子育てを通じた世代間交流

子ども育成支援団体同士の情報交換会の開催・展開

第1回情報交換会を開催した「大師地区」での第2回目の開催を検討するとともに、新たに「田島地区」での第1回目の情報交換会の開催を検討します。今後は、情報交換会の開催に向けた体制づくりと子ども育成支援団体のネットワークの構築に向けた取組を審議していきます。

絵本の読み聞かせなどによる世代間交流の実態把握と促進策の検討

世代間交流に関する活動や団体の実態を調査し、世代間交流の促進に向けた取組を検討します。

外国人市民も暮らしやすいまちづくり

外国人支援団体と連携した防災フォーラムの開催

区内には多くの外国人市民が生活していますが、外国人市民にも防災に関する知識や心構えを日本人と同じように持ってもらう必要があります。そこで、外国人支援団体と連携した外国人市民向けの防災フォーラムを定期的に開催することを提案します。

平成 27 年 2 月には、第1回の防災フォーラムをカトリック貝塚教会で実施しました。当日は約 80 名もの外国人市民が参加し、防災についてのビデオ鑑賞、避難時に確認する事項などを学んだ後、防災体験（消火器の使い方、煙体験、地震体験）を実施しました。消火器の使い方を熱心に学ぶ参加者の様子

